

施策番号	2205		
施策名	市民とともに推進する景観まちづくり		
概要	あらゆる主体が参加，協働し，主体性をもって，地域の特性に応じた景観づくりに取り組むため，地域での景観づくりで中心的な役割を担う人材育成をはじめ，多様なひとびとの地域への思いや絆を生かした景観づくりの取組を推進していく。		
担当局・部室	都市計画局・都市景観部	共管局・部室	
上位政策	22 景観		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市景観計画		

施策の評価

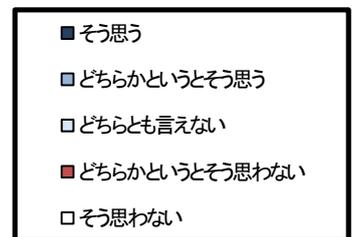
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 景観づくりに取り組む地域数(件)	-	-	-	5	5	100.0%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
							客観指標総合評価	a

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	148	239	95	46	15	543	a
	27.3%	44.0%	17.5%	8.5%	2.8%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	a



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 地域の特性に応じた景観は、地域独自の景観に関する活動の中で徐々に形成されていくものであることから、客観指標を重視した。						年度	-
(原因分析) ・客観指標について、23年度に地域景観づくりに関する制度を施行し、それぞれの地域に応じた景観づくりに取り組む5地域で、一定の取組が行われた。 ・また、地域の特性を踏まえた高さ規制やデザイン基準等により景観形成を進めており、市民の実感として高い評価を得ていることから、総合評価としてA評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	景観形成推進事業	39,676	45,177	かなり悪い	都市計画局
2	宅地開発指導等	252,666	242,287	-	都市計画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成23年度に、景観政策の進化の一つとして、地域の景観づくりに取り組む組織を「地域景観づくり協議会」として市長が認定する制度や、その活動対象区域において建築等を行う場合には当該協議会の意見を聴く制度を施行している。また、地域の景観づくりで中心的な役割を担う人材育成を行う「地域景観づくり講座」を開催しており、今後も、これらの制度を活用しながら、地域の景観づくりを支援する取組を進めていく。

施策名	2205	市民とともに推進する景観まちづくり
-----	------	-------------------

指標名	景観づくりに取り組む地域数（件）
-----	------------------

担当課	景観政策課	連絡先	222-3397
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

地域の住民が主体となって、景観づくりに取り組んでいることが明らかな地域数

2 指標の意味

景観を観点としたまちづくりの拡がりを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	22年度	23年度		数値	根拠	
数値	-	5	-	5	都心4学区での元学区の半分と周辺地各2地区程度で約50件を10年間で取り組む。	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠	備考
		数値	目標年次	達成度		
数値		50件	32年度	10.0%	都心4学区での元学区の半分と周辺地各2地区程度で約50件を10年間で取り組む。	

5 評価基準

目標値に対する達成度が、
a：100%以上（5件以上）
b：80%（4件）
c：60%（3件）
d：40%（2件）
e：20%以下（1件以下）

6 基準説明

目標件数を基準に、件数毎に5段階評価とした。

7 評価結果

	23	24
-	-	a